

第 37 回九州実験動物研究会総会  
第 39 回日本実験動物技術者協会九州支部研究発表会（第 42 回総会）  
合同開催プログラム

日時：2019 年 11 月 16 日（土）・17 日（日）（若手交流委員会勉強会：11 月 17 日午後）  
会場：久留米大学医学部基礎 3 号館 1 階セミナー室 〒830-0011 福岡県久留米市旭町 67 番地

11 月 16 日（土）

受付 9:30～

開会挨拶

□10:00～10:30

久留米大学動物実験センター所長挨拶 桑野 剛一  
大会長挨拶 御船 弘治  
九州実験動物研究会会長 小野 悦郎  
日本実験動物技術者協会九州支部長 野口 和浩

シンポジウム（九実研・実技協） テーマ：「運動の評価法～実験動物からヒトまで」

□10:30～12:00

座長：御船弘治（久留米大学）、佐藤貴弘（久留米大学）

1. 演題：生活習慣病における運動の意義  
演者：田尻祐司（久留米大学医療センター 糖尿病センター）
2. 演題：運動における飢餓と動物実験技術  
演者：佐藤貴弘（久留米大学分子生命科学研究所）
3. 演題：自発運動測定による概日リズム解析について  
演者：坂井勇介（久留米大学医学部動物実験センター）
4. 演題：運動機能の向上に関わる生理活性物質の探索と評価法  
演者：御船弘治（久留米大学医学部動物実験センター）

質疑応答（10分）

昼 食 評議員会 12:00～13:00

一般演題（九実研）

□13:00～13:30

座長：篠原明男（宮崎大学）

1. 飼育装置の排気系ダストを利用した微生物モニタリングの試み  
○大沢牧子，横山いずみ，長尾真菜，尾上知佳子，山本直土，久保憲昭，大沢一貴  
長崎大学先端生命科学研究支援センター比較動物医学分野（動物実験施設）
2. SAMP10 マウスを用いたヘルペスウイルス潜伏感染モデルにおける潜伏ウイルス再活性化のメカニズム

ルツハイマー病態に対する影響について

○田中聖一<sup>1)</sup>, 古賀崇男<sup>1)</sup>, 永島 博<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup>福岡大学アニマルセンター, <sup>2)</sup>(株)アニマルケア

3. マウスにおける慢性軽度ストレスに対する抵抗性遺伝子座の遺伝学的解析

○野村 暖, 鳥越大輔

熊本大学生命資源研究・支援センター実験動物分野

□13:30~14:10 座長：鳥越大輔（熊本大学）

4. ヨーロッパモリネズミの生殖工学技術確立に向けた未成熟卵の体外成熟培養

○稲岡志織<sup>1,2)</sup>, 前田麻乃加<sup>1,2)</sup>, 名倉悟郎<sup>1)</sup>, 篠原明男<sup>1,2)</sup>, 中家雅隆<sup>3)</sup>, 越本知大<sup>1,2)</sup>

<sup>1)</sup>宮崎大学フロンティア科学実験総合センター, <sup>2)</sup>同 大学院医学獣医学総合研究科,  
<sup>3)</sup>滋賀医科大学動物生命科学研究センター

5. 若齢ウサギから過排卵処置により採取した卵子の受精能力について

○秋吉俊明<sup>1)</sup>, 吉岡翔太<sup>1)</sup>, 松久葉一<sup>1)</sup>, 向平峻太郎<sup>1)</sup>, 森本正敏<sup>1,2)</sup>, 塩見雅志<sup>1,3)</sup>, 北嶋修司<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup>佐賀大学総合分析実験センター, <sup>2)</sup>福岡女学院看護大学, <sup>3)</sup>神戸大学医学部

6. 超急速ガラス化法による WHHL ウサギ胚の凍結成績について

○向平峻太郎<sup>1)</sup>, 松久葉一<sup>1)</sup>, 高井直史<sup>2)</sup>, 前田達弘<sup>2)</sup>, 水田あい<sup>2)</sup>, 吉岡翔太<sup>1)</sup>, 森本正敏<sup>1,3)</sup>,  
北嶋修司<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup>佐賀大学総合分析実験センター, <sup>2)</sup>北山ラベス株式会社伊那バイオセンター,  
<sup>3)</sup>福岡女学院看護大学

7. ウサギ体外受精における精子前培養法の検討

○吉岡翔太<sup>1)</sup>, 秋吉俊明<sup>1)</sup>, 松久葉一<sup>1)</sup>, 向平峻太郎<sup>1)</sup>, 森本正敏<sup>1,2)</sup>, 北嶋修司<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup>佐賀大学総合分析実験センター, <sup>2)</sup>福岡女学院看護大学

**一般演題（実技協）**

□14:10~14:40 座長：鶴木 恵（日本生物製剤）

1. 実験動物管理システムの導入

○立部 誉, 福山伸隆, 瀬戸山健太郎

鹿児島大学研究支援センター動物実験施設

2. 福岡大学アニマルセンターにおける実験動物技術講習会（中級編）の取り組みについて

○古賀崇男<sup>1)</sup>, 永島 博<sup>2)</sup>, 松山 充<sup>2)</sup>, 川口雅人<sup>2)</sup>, 田島柳一<sup>2)</sup>, 吉村健吾<sup>2)</sup>, 金倉辰行<sup>2)</sup>,  
坂元 愛<sup>2)</sup>, 西山由紀<sup>2)</sup>, 橋本佳典<sup>2)</sup>, 岡元友美<sup>2)</sup>, 田中聖一<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup>福岡大学アニマルセンター, <sup>2)</sup>(株)アニマルケア

3. 新しい動物実験施設でのトラブルについて

○大久保一豊, 岡部百合, 坂井勇介, 御船弘治

久留米大学医学部動物実験センター

□14:40～15:00 座長：中村直子（熊本大学）

4. ギョウチュウ汚染事故とその対応について

○山野聖子，諫山慧士朗，千田美紀，尾崎真由，片山知子，安森愛紗，村田智昭  
山口大学総合科学実験センター生命科学実験施設

5. 新動物実験センターへの遺伝子組換え動物の移動について

○岡部百合，大久保一豊，坂井勇介，御船弘治  
久留米大学医学部動物実験センター

休 憩 15:00～15:10

九実研及び実技協九州支部 合同特別講演 I

□15:10～16:00 座長：小野悦郎（九州大学）

演題：実験動物と動物実験からみたプリオン病研究

演者：毛利資郎（鹿児島大学共同獣医学部）

九実研総会 16:10～17:00

地域に根ざした教育活動紹介 「高校生ポスター発表」

□18:30～18:40 座長：坂井勇介（久留米大学）

マウスを用いたエナジードリンクの影響の研究

○神田瑞月<sup>1)</sup>，大谷ひまり<sup>1)</sup>，大谷さくら<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup>上智福岡高等学校，<sup>2)</sup>福岡大学附属大濠高等学校

ポスター発表（広東省実験動物学会・実技協・久留米大会枠）

□18:40～19:10 座長：坂井勇介（久留米大学）

セッション I

1. マウスを用いた育児期間における情動および社会性行動について

○井上大樹<sup>1,3)</sup>，神田瑞月<sup>2)</sup>，大谷ひまり<sup>2)</sup>，坂井勇介<sup>1)</sup>，御船弘治<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup>久留米大学動物実験センター，<sup>2)</sup>上智福岡高等学校，<sup>3)</sup>株式会社バイオテック

2. ICR マウスの4週間飼育における巣材の有用性の検討

○江藤美穂，竹之上翔太，若松真矢，中野淳一

株式会社新日本科学・安全性研究所

3. 持続的脳温測定法の確立と脳温リズムの測定

○大石佳苗<sup>1,2,3)</sup>，佐藤貴弘<sup>2)</sup>，児島将康<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup>久留米大学医学部動物実験センター，<sup>2)</sup>久留米大学分子生命科学研究所，

<sup>3)</sup>株式会社バイオテック

セッションII

座長：川辺敏晃（アーク・リソース株式会社）

1. New insights into antibody and nucleic acid detection in virus monitoring of laboratory mice in vivo study  
Yinzhu Luo, Lifang He, Jing Wang, Lei Ma, Ruike Wu, Binghong Wang, Yuexiao Lian, Fangui Min, Yu Zhang, Ren Huang  
Guangdong Laboratory Animals Monitoring Institute, Guangdong Key Laboratory of Laboratory Animals, Guangzhou, Guangdong, China
2. GMDTC attenuates cisplatin-induced systemic toxicity without affecting antitumor efficacy  
Xiaojiang Tang<sup>1,2,3</sup>, Yichen Ge<sup>3</sup>, Nina Zheng<sup>3</sup>, Xushen Chen<sup>3</sup>, Jinqiu Zhu<sup>3</sup>, Wei Sun<sup>3</sup>, James R. Olson<sup>3</sup>, Diana S. Aga<sup>3</sup>, Wei Hu<sup>1</sup>, Zhiyong Zhong<sup>2</sup>, Xuefeng Ren<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>Guangdong Zoolgen Bio-Tech Co., Ltd., <sup>2</sup>Zhuhai BesTest Bio-Tech. Co., Ltd., <sup>3</sup>Department of Epidemiology and Environmental Health, School of Public Health and Health Professions, The State University of New York

懇親会 19:10～21:00

久留米大学基礎3号館1階エントランスホール（旭町キャンパス）

11月17日（日）

受付 9:00～

実技協九州支部（飼育管理部会） テーマ： ～ 適切な麻酔法について考える ～

□9:30～10:40 座長：若松真矢（新日本科学）

1. マウス・ラットの麻酔について –三種混合麻酔薬を中心に–  
桐原由美子（島根大学研究・学術情報機構総合科学研究支援センター実験動物部門）
2. 中動物の麻酔（周術期）管理  
瀬戸山健太郎（鹿児島大学研究推進機構研究支援センター動物実験施設）

質疑応答 （10分）

実技協九州支部総会 10:40～11:10

九実研及び実技協九州支部 合同特別講演 II

□11:10～12:00 座長：大沢一貴（長崎大学）

演題：動物愛護管理法改正について

演者：浦野 徹（自然科学研究機構生理学研究所）

閉 会 12:00～

昼 食 12:00～13:00

## 施設紹介と施設見学

□13:00～

演題：新動物実験センターについて

演者：御船弘治（久留米大学医学部動物実験センター）

見学：基礎3号館・動物実験センター

## 第9回若手勉強会

□ 13:00～16:00

### 企画1：特別講演

演題：マウスを用いた内皮・上皮の形態形成機構の解析

演者：市瀬広武（琉球大学医学部附属動物実験施設）

演題：現代の創薬における実験動物施設の微生物管理（仮）

演者：丸山 滋（日本チャールス・リバー(株)モニタリングセンター）

### 企画2：産学（学学）連携を推進するための若手会員によるショートプレゼンテーション

演題：前臨床におけるMRIの活用（仮）

演者：中村祐里（株式会社新日本科学 安全性研究所）

他：演題、演者未定